

クロモ

Hydrilla verticillata (L. fil.) Caspary

トチカガミ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

かつては池、沼、溝などに生育して広く生育が認められたが、1960年代以降激減し、稀産の種類となった。
(現況:VO)

形態

オオカナダモやコカナダモと紛らわしいことがあるが、本種は夏緑性であるのに対して、オオカナダモは常緑である。コカナダモは葉が輪生、オオカナダモは主に4輪生(3~5~8輪生もある)であるが、本種は3~8葉を輪生する。

国内分布

北海道から沖縄まで分布する。アジア、ヨーロッパ、アフリカ、ヨーロッパに分布。北米に帰化。

県内分布

中能登区、南加賀区。

生態など

沈水性の水草。雌雄異種と雌雄同株の2系統があり、前者は全国的に、後者は主に西日本に分布。雌雄異種のものでは腋生殖芽、雌雄同株のタイプでは主に地中に塊茎ができ、越冬芽となるという。雄株と雌株の混生の場合にだけ種子ができる。

生育環境

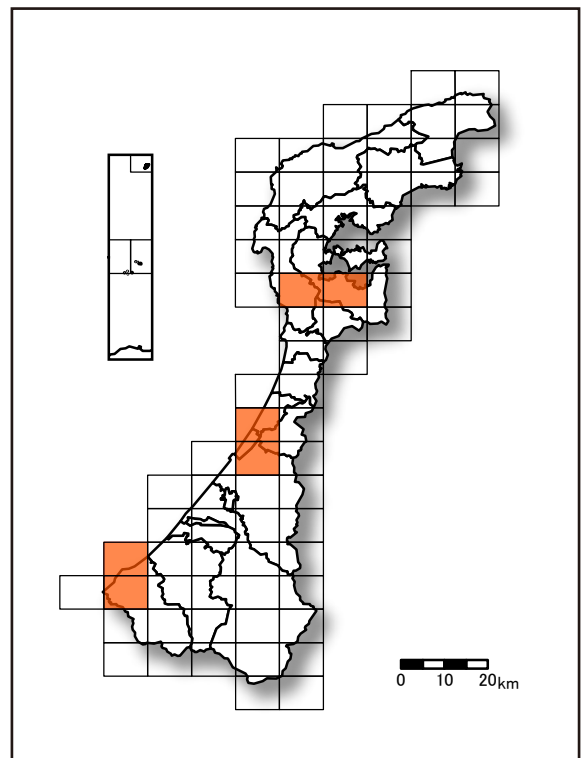
主に水田などの水路に生育。

危険要因

かつての主な危険は除草剤(農薬汚染)であったが、現在では水質汚濁、自然遷移、オオカナダモなどの帰化競合が重要。



本多郁夫・2000年8月25日・金沢・(上:雄花・下:雌花)



県内の分布